

国際法(主体)

科目ナンバリング ILA-202
選択 2単位

喜多 康夫

1. 授業の概要(ねらい)

新聞やテレビなどの報道機関の影響のせいか、各国政府の動向などの国際政治が着目される傾向が世間にはあるかと思います。そのためか、国際法についてよく理解されていないかったり、逆に誤解されることも多いかと思います。例えば、武力紛争が起こるたびに「国際法は死んだ」とか、「国際法は役に立たない」などと言われますが、このような発言は、国際法が国際関係において現実に果たしている役割を正しく理解しているとはいえません。平時であろうと戦時であろうと、主権国家の関係を規律するのが国際法の役割であって、それを理解することが重要です。

本講義の目的は、2つあります。第一の目的は、上記で指摘した国際法が実際に果たしている役割を学生諸君に知ってもらうことです。本講義では、国家などの国際法の主体を説明します。第二の目的は、国際法を通して、学生諸君のリーガル・マインドの育成にあります。そのため、判例解説に重点をおきたいと思います。

2. 授業の到達目標

- ① 国際法の基本知識をさらに発展させ、国際法秩序の全体像を理解できる。
- ② リーガルマインドを成長させることができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価については授業貢献(50%)とLMS試験(50%)に基づいて行います。

LMSは宇都宮キャンパスのLT開発室が管理しているe-learningシステムです。このシステムには授業で使用したパワーポイントファイルをアップロードします。また、このシステムで試験を実施します。

LMSを使用するには学内LANのパスワードが必要です。学内LANのパスワードを取得していない学生及びパスワードを忘れてしまったという学生は、8号館1階の情報処理センターで、できる限り早くその手続きを行ってください。

4. 教科書・参考文献

教科書

薬師寺公夫・坂元茂樹・浅田正彦(編) 『ベーシック条約集 2019』 (東信堂、2019年)

参考文献

杉原高嶺 『基本国際法(第3版)』 (有斐閣、2018年)

杉原高嶺・酒井啓亘(編) 『国際法基本判例50(第2版)』 (三省堂、2014年)

5. 準備学修の内容

LMSによる予習と復習を行うことができれば、と思います。実施する場合には、詳細はオリエンテーションのときに説明します。

6. その他履修上の注意事項

【関連科目】国際法の授業は全体として「国際法(歴史・法源)」、「国際法(主体)」、空間の規律に関する「国際法(空間)」及び国際法秩序の維持に関わる「国際法(秩序維持)」から構成されており、国際法の全体像を理解するためには、上記科目を履修することが望ましいと考えます。また、さらに国際法の専門分野として、「国際組織法I/II」「国際人権法」「国際安全保障法」「国際経済法I/II」「国際裁判所論I/II」「国際刑事法I/II」などがあり、より深く勉強できるようになっています。

【学生へのメッセージ】第1回目のオリエンテーションで、授業のスケジュールと単位の取得方法などを説明するので、必ず出席するようにしてください。

質問のある学生は、yaskita@main.teikyo-u.ac.jpにまでメールを送ってください。なお、その場合は表題に「・・・の件」とした上で、氏名及び学籍番号と用件の内容をメール本文に記して送ってください。匿名メールはスパムとして取り扱います。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | 01. 国際法主体の種類 |
| 【第3回】 | 02. 国家の成立と国家承認 |
| 【第4回】 | 03. 国際法上の政府の問題 |
| 【第5回】 | 04. 主権と管轄権 |
| 【第6回】 | 05. 国家免除 |
| 【第7回】 | 06. 国際関係における国家機関 |
| 【第8回】 | LMS講習会 |
| 【第9回】 | 07. 国家の消滅 |
| 【第10回】 | 08. 国家承継 |
| 【第11回】 | 09. 国際機構 |
| 【第12回】 | 10. 国籍と外国人 |
| 【第13回】 | 11. 国際的人権保障制度 |
| 【第14回】 | 12. 国際法上の人権の種類 |
| 【第15回】 | 13. 国際犯罪の規制
・LMS試験 |